

# そうさ 匠瑛議会だより

# 第71号

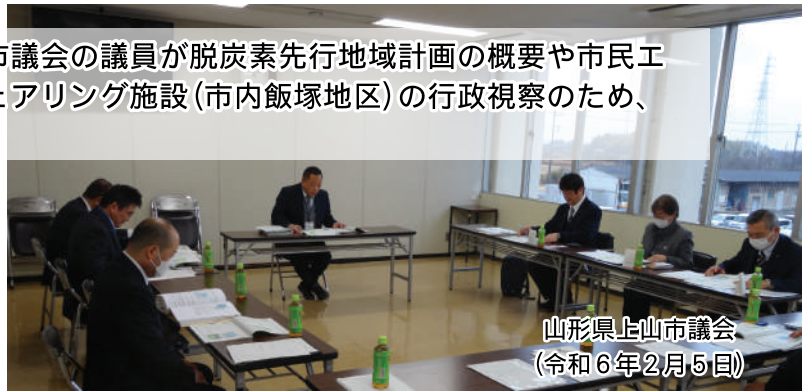
2024

令和6年

2月28日発行



本年2月に山形県上山市議会、茨城県牛久市議会の議員が脱炭素先行地域計画の概要や市民エネルギーちば(株)が設置しているソーラーシェアリング施設(市内飯塚地区)の行政視察のため、本市を訪れました。



山形県上山市議会  
(令和6年2月5日)



山形県上山市議会  
(令和6年2月5日)

### 主な内容

- 委員会の審査、議会人事 P2
- 一般質問 P3~7
- 委員会の視察 P7
- 審議結果 P8

茨城県牛久市議会  
(令和6年2月9日)

## 令和5年度匠瑛市一般会計補正予算など 議案15件、議員発議案1件を可決・同意

### 12月定例会

令和5年12月定例会は、12月1日に招集され、19日までの会期19日間をもって開かれた。初日に市長から議案10件について、提案理由の説明があった。

その後、山崎等議長から議長職の辞表が提出され、選挙の結果、新議長に平山政利議員が選出された。空席となった副議長には、選挙の結果、石橋春雄議員が選出された。

また、各常任委員会委員の改選と一部事務組合議会議員の補欠選挙を行った。6日は、議案に対する大綱質疑が行われ、

各常任委員会に議案を付託した。

6日、7日、8日、11日には、予算決算、総務、文教福祉、産業建設の各常任委員会において、付託された議案等の詳細な審査を行った。13日、14日には、議員9人による市政に対する一般質問を行った。

19日の最終日には、付託議案等に対する各常任委員長の審査報告があり、採決の結果、議案はすべて可決、提出された請願1件及び陳情1件をすべて採択した。

また、市長から追加提案された議案5件に可決・同意、議員から提出された発議案1件を可決し、閉会した。

### 議長・副議長就任のあいさつ



市長 平山 政利



副議長 石橋 春雄

市民の皆様におかれましては、日ごろから市議会に對し、深いご理解とご協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

私どもは、先の12月定例会において、議員各位のご推挙をいただき、

議長・副議長の職に就任いたしました。誠に身に余る光栄であります。その重責を思うとき、身を引き締め新たな気持ちで職務を全うしていきたいと考えております。

さて、市政においては、国から選定された「脱炭素先行地域計画」の推進、銚子連絡道路の延伸に伴う産業用地の整備、国保匠瑛市民病院の建替などの課題もあり、議会が果たす役割も一層大きなものになります。

市議会といたしましたとしても、匠瑛市が将来都市像として掲げた「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匠瑛市」の実現に向け、社会・経済情勢の変化に的確に対応し、多様化する市民要望に迅速にこたえてまいりたいと考えております。

そして、円滑な議会運営を図り、信頼される議会を作り上げていきたいと考えております。また、市長をはじめとする執行部とは、お互いの立場をよく理解し合いながら、市民福祉の向上と市政発展のために全力を尽くしてまいります。

今後とも、市民の皆様のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。就任のあいさつといたします。



↑議会だより(過去分含む)の電子版はコチラから閲覧できます。

# 常任委員会の審査

## 予算決算常任委員会

12月6日開催、委員18名出席  
付託された事件は、議案5件

### ◆審査の経過及び結果

・議案第1号  
病児・病後児保育事業、公園施設災害復旧費、過疎地域持続的発展特別事業債、商工費指定寄附金、新型コロナウイルススワクチン令和4年秋開始接種事業、中学校施設整備事業、学校給食センター管理費、児童手当支給事業、排水機場

維持管理費、飼料用米等拡大支援事業などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第2号  
賦課徴収費に関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第3号  
質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第4号  
地域包括支援センター費に関する質疑があり、賛成全員

※議案名等は、8ページの審議結果を参照

で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第5号  
医師確保対策補助、経営強化プラン策定経費補助、診療材料費、訪問看護ステーション費用などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

## 総務常任委員会

12月7日開催、委員6名出席  
付託された事件は、議案3件

### ◆審査の経過及び結果

・議案第6号  
改正内容や影響額に関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第7号  
質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

・議案第8号  
質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

## 文教福祉常任委員会

12月8日開催、委員6名出席  
付託された事件は、議案2件

### ◆審査の経過及び結果

・議案第9号  
期末手当の支給率に関する

●委員会終了後、ソーラーシェアリング施設（市内飯塚地先）の視察を行った。  
Ⅱ関連記事7ページ

## 議会人事

12月定例会において議会人事を行いました。委員会委員及び一部事務組合議会議員は、次のとおりです。  
また、監査委員の選任について同意しました。

### ◆委員会委員

◆議会運営委員会  
委員長 武田光由  
副委員長 近藤魁人  
委員 石田勝一、田村明美、荻谷進一、

### ◆総務常任委員会

委員長 山崎 等  
副委員長 伊東一成  
委員 武田光由、行木光一、平山政利、石橋春雄

### ◆一部事務組合議会議員

◆東総衛生組合  
林 明敏、増田正義  
◆匝瑳市ほか二町環境衛生組合  
佐藤 悟、行木光一、伊東一成  
◆匝瑳市横芝光町消防組合  
石田勝一、山崎 等、

### ◆監査委員

12月19日同意  
山崎 等

## 市政に関する一般質問

### 12月定例会

一般質問は、市政全般にわたり、市長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問や提案を行うとともに、報告や説明を求めるものです。

12月定例会では9名の議員が質問に立ちました。主な質



匝瑳市議会会議録は、こちらから閲覧できます。

問と答弁を要約し、掲載しました。

## 匝瑳市議会インターネット中継ぜひ、ご活用ください！

匝瑳市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。市議会を傍聴に来られない方などは、ぜひご覧ください。





都祭広一議員  
(創 真の会)



## 移住・定住に向けた、住宅と雇用の確保を

**問** 空き家対策も兼ねた住宅整備やハロワーワーク等を通じた就労支援について、実効的な体制構築について伺う。

**答** 「市長」 現在休止している、お試し住宅制度を再開できるように、担当課に指示を出したところである。指摘があった空き家の活用や移住希望者の就労支援については、現行の空き家バンク制度の見直しやハロワーワーク等との連携を図り、取り組んでいく。

**問** 不動産業者との情報共有等が必要ではないか。

**答** 「企画課長」 いま一度、不動産業者等から意見を伺い、さらに魅力的な制度となるよう調査研究していきたい。

## 多様な働き方の推進を

**問** 移住支援や子育て支援にも繋がりが、多様な働き方が選択できる在宅ワークへの支援を進めるべきではないか。

**答** 「市長」 在宅ワークに関心のある人に向けて、様々な広報媒体の活用や就労支援機関との連携による事業周知を行い、利用促進に努めていく。

「**商工観光課長**」 在宅ワーク支援に伴う地域女性活躍推進交付金等について、今後セミナーの開催やデジタル分野のスキル向上の支援を含め、関係課と連携し協議をしていく。

## 子育てワンストップ実現に向けた、情報共有を

**問** 当市の子育ての核となる子育て世代包括支援センター、マザーズホーム、教育現場、幼保事業者、関係する市内事業者との情報共有を目的とした実務者レベルでの新たな連携会議の場を設けるべきではないか。

**答** 「市長」 効果的な意思決定と業務の円滑な進捗が期待できるものと考えられるため、関係機関と連携を図りながら、よりよい療育支援が提供できるよう、実施に向けた調整を行ってみたい。

## 持続可能な社会に向けた、ライフプランニング教育を

**問** 子どもを持つことや育児の素晴らしさを伝え、持続可能な社会・地域をつくる意味でも大切なライフプランニング（人生設計）支援への教育を含めた行政現場の対応について伺う。

**答** 「学校教育課長」 小学校、中学校ともに学習指導要領の内容に則って、より良い家庭生活に向けて考え工夫する活動を通して、学習内容が身につくような指導をしている。

**問** 中学生において、多様性教育等による戸惑いや規範がなくなることを危惧しているがいかがか。

**答** 「学校教育課長」 危惧されるような過剰な多様性教育は、現在の学校教育の中で進めているのではないかと考えている。



林 明敏議員  
(市民クラブ)



## 広域ごみ処理事業について

**問** 現在までの広域ごみ処理事業費を伺う。

**答** 「市長」 平成20年度から令和4年度までの広域ごみ処理事業費は235億8,833万4,183円、広域最終処分場建設事業費は40億9,995万9,615円である。

**問** 最終処分場用地から出た産廃の処理に数百万円程度かかったと聞いている。その後の組合の対応を伺う。

**答** 「市長」 組合からは、地権者への損害賠償請求について、今後慎重に組合の対応方針を検討していくと伺っている。

## マイナンバーカードの活用について

**問** 市役所において、マイナンバーカードによる印鑑証明書の取得はできないのか。

**答** 「市民課長」 現在、コンビニエンスストアにおいては、マイナンバーカードを用いて印鑑証明書を取得できる。今後、市役所でのマイナンバーカードによる取得について、近隣市町村の動向を踏まえ検討していく。

## 旧匠瑛小・旧のさか幼稚園の跡地利用

**問** 旧匠瑛小及び旧のさか幼稚園の利用

についての検討状況を伺う。

**答** 「市長」 旧匠瑛小は、民有地の取得を進めているところである。旧のさか幼稚園は、新たな活用要望が出され、現在その内容を精査している。今後、これまでの要望も含め、検討を進めていく。

## 成田空港関連について

**問** 航空機が匠瑛市上空において、国の発表よりも低い位置で飛び、騒音が気になることもある。そのようなことの情報共有や協議をする組織をつくるよう要望してはいかがか。

**答** 「市長」 今後、多古町まで滑走路が延伸され、これからは隣接する市となるので、様々な要望を行ってみたい。

## 漁業について

**問** 現在の漁業の状況と対策について伺う。

**答** 「市長」 令和4年1月〜10月の漁獲量は1,437トン、令和5年1月〜10月の漁獲量は414トンであった。海水温や海流の影響から漁場が移動していること、天候不順により操業日が限られたことから漁獲量は大幅減少とのこと。しかし、売上単価は上昇しており、昨年同期比1割程度の減収とのことである。

「**農林水産課長**」 後継者対策として、地域伝統漁業育成事業により、後継者の育成及び確保、水産資源の管理及び増殖に取り組みできたところである。また、漁獲高減少対策については、千葉県漁業共済事業に係る共済契約を締結した中小漁業者に対し、共済掛金合計額の1割を上限に助成を行い、不漁時の経営の安定化を図っている。



武田光由議員  
(公明党)



## 誰もが投票しやすい環境整備を

**問** 郵便等投票制度の対象者への啓発、広報、周知について伺う。

**答** 「総務課長」市ホームページによる周知のほか、市長選挙等の選挙期日を把握している選挙の場合は、広報そうさに掲載している。また、障害者手帳交付時に配布する「福祉のしおり」で周知している。

今後は匝瑳市選挙管理委員会が年1回発行する「白ばらだより」による周知を図るとともに、市ホームページ上の障害者福祉及び介護保険制度のページにもリンクを張り、周知していきたい。また、介護が必要な人についても、高齢者在宅福祉サービスの案内の中で周知していきたい。

**問** 投票所スタッフに手伝ってほしいことを記入する「選挙支援カード」といった、スムーズに投票できる仕組みを導入してはいかがか。

**答** 「総務課長」選挙支援カードについては、次の選挙から導入できるよう、先進自治体の取組を参考に検討していきたい。

## パーソナル知育絵本について

**問** 言語発達を促すツールとして認められているパーソナル知育絵本についての見解を伺う。

**答** 「市長」この絵本は子どもが興味を示しやすく、親子でのコミュニケーションを楽しむことができる。また、読み聞かせを通じて子どもの感性が育まれ、考える力や発達を促すことができることから、新たな子どもの読書活動の推進につながる取組の一つになるのではないかと考えている。

## 通学路の安全について

**問** 通学路の安全確保の取組について伺う。

**答** 「教育長」平成24年に匝瑳市通学路交通安全プログラムを策定し、毎年、通学路合同点検及び通学路安全推進会議を実施し、通学路の安全確保に努めている。通学路合同点検では、各学校で取りまとめた要対策箇所について、市、学校、警察、千葉県で現地点検を実施し、その後の通学路安全推進会議においては、各団体の実施対策について調整を行い、全体の対策を決定している。

さらに、各学校では、児童生徒から通学路の危険箇所の聞き取りを行い、通学路の実態に応じた指導を行うとともに、登下校時にはPTA、社会福祉協議会、シニアクラブ及びボランティアによる見守り活動が行われている。



内山隼人議員  
(Think globally, Act locally!)



## 食料安全保障のため、輸入依存度を下げる取り組みを

**問** 日本の食料自給率はカロリーベースで38%である。品目別では、大豆6%、小麦15%。肉類は家畜の飼料を考慮すると8%。米、野菜は高い自給率だが、野菜のタネの自給率は10%以下、化学肥料も海外に大きく依存しており、日本の食と農業は海外情勢の影響により簡単に揺らいでしまう。輸入依存度を下げる取り組み、自立した農業へ向けて、将来、実を結ぶような“未来へのタネまき”を始めるべきではないか。

**答** 「市長」 「地産地消・食の安全と自給率向上都市宣言」の理念に基づき地元産品への理解と利用の促進を図り、地産地消を通じた地域の食料自給率向上に繋げることで、広い意味での食料安全保障の強化に貢献できるように取り組んでいく。また、輸入依存度を下げるため、耕畜連携による国産飼料の生産・利用拡大や水産資源の増殖の支援に取り組んでおり、食料自給率の向上や輸入依存度の低減に繋がってきたい。

## 保育施設間で食の安全に関する情報共有を

**問** 日本の食の安全は大きく揺らいでいる。ヒトに対しておそろく発がん性があるとされるグリホサート除草剤を使った農産物を日本は基準を緩和し、大量に輸入している。神経毒であるネオニコチノイド系農薬についても、EUが全面廃止に向けて進めるなど世界では規制を強化しているが、日本は緩和した。添加物の認可数も世界トップクラスである。子どもは食べものによる影響を受けやすく、味覚を決める大事な時期でもある。市内保育施設間で食の安全に関する情報共有が必要だと考えるが、見解はいかがか。

**答** 「市長」保育所職員と食材の安全性等の情報を共有することで、子どもたちの安全を確保している。今後、必要な情報を共有しながら、食の安全に努めていく。

## 女子中学生の制服にスラックスの選択肢を

**問** 市内女子中学生の制服はスカートしか選択肢がないように見受けられる。「女子IIスカート」という古い価値観をいち早く脱却しなければいけないのではないかと、大事なことは、「選択肢」があること。見解はいかがか。

**答** 「教育長」多様性や機能性の観点から、女子の制服にスラックスを採用している学校が全国的に増えている。本市でも、女子の制服において従来のスカートに加えて、新たにスラックスタイプの制服を選べるような対応をとる予定である。



伊東一成議員  
(匠風)



## 産業用地の整備

**問** 先に行われた住民説明会においては、企業誘致に否定的な意見が目立ったが、今後の計画についてはいかがか。

**答** 「市長」当日参加者からのアンケート回答では、市の将来のために着実に進めてほしいという意見も多かった。今回いただいた意見により、今すぐに計画を変更することはないが、未来へ夢と希望を持てるまちづくりの一つとして本事業は非常に重要であると考えていることから、今後も関係者の意見をしっかりと聞きながら丁寧な事業を進めていきたい。

**問** 横芝光町でも先行して同様の計画が進んでいるが本市の優位性は何か伺う。

**答** 「商工観光課長」本市の強みであり、県内有数の産出額を誇る農林水産業と連携した産業団地の整備を進めることで、地場産業のさらなる振興に繋がっていききたい。

## 脱炭素先行地域について

**問** 本事業を推進する上で、市が一般財源で負担する費用はあるか伺う。

**答** 「市長」今年度から令和10年度ま

での間に13の事業に取り組みものとしている。これらの事業は、国の交付金を頂いて執行することになるが、そのうち市が事業費の一部を一般財源で負担する事業としては、公用車をEV車に更新する事業がある。

## タウンミーティングの開催

**問** 市民が市長と直接意見交換をするタウンミーティングの開催状況を伺う。

**答** 「秘書課長」今年度は、これまでに5つの団体と懇談会を行っている。

**問** タウンミーティングの結果、実際に至った施策はあるか伺う。

**答** 「市長」市内公共交通機関の改善の意見に対して、本年4月よりデマンド型交通の運行を開始した。また、独自の税外収入の確保について、公共施設のネーミングライツを導入し、現在募集を行っているほか、観光資源周知のためのSNS活用については、LINE公式アカウントの導入について準備を進めているところである。

## 行政改革大綱について

**問** 令和5年度で計画期間が終わる第4次匠瑳市行政改革大綱の評価について、どのように考えているか。

**答** 「市長」進捗率は84・6%で、その効果額は、令和4年度末で7億4,500万円となっている。これまでの行政改革の取組により、一定の効果があつたものと考えている。



椎名勝英議員  
(日本共産党)



## 利用実態から見るデマンドタクシーの課題

**問** 自宅（野栄地区）からデマンドタクシーで市民病院に行き、帰宅のため11時20分頃に予約の電話をしたが、「11時15分以降は野栄の浜までは行けない」と断られた事例がある。運行時間は8時～17時（12時～13時は休憩）と聞いているが、利用しやすい制度に改善すべきではないか。

**答** 「市長」デマンド型交通は一般のタクシーとは異なり、一定のルールの下、運行している。予約は利用予定日の1週間前から利用予定時刻の1時間前まで可能である。運行会社の事業所から遠い地区は指摘のとおり移動に時間がかかる場合もある。

**問** 堀川・栢田浜地域は、成田空港離着陸機の騒音（特に北風運用時の到着時）に悩まされている。現在、成田空港は拡張工事を実施中だが、完成後には騒音ももっと大きく多くなると思う。騒音対策について伺う。

**答** 「市長」これまでに市独自で航空機の騒音測定を実施したことはない。成田国際空港株式会社において、50万

回時の予測騒音コンターを公表しており、機能強化後も本市は基準値以下であるため騒音対策の対象地区には含まれていない。

## 加齢性難聴が認知症の危険因子に

**問** 厚生労働省は加齢性難聴が認知症の危険因子になると指摘している。市として加齢性難聴者への補聴器購入助成をすべきと思うが、いかがか。

**答** 「市長」令和5年11月末現在、千葉県内4市でそれぞれ支給要件を設け、加齢性難聴者の補聴器購入助成が行われている。助成制度の創設については、令和4年度に続き今年度も全国市長会から国へ提言が行われている。市としても引き続き、全国市長会等を通じて要望していきたい。今後も、国や県、他市町村の動向を注視し調査研究を行っていく。

## 有害鳥獣の被害とその対策について

**問** 匠瑳市内でも有害鳥獣の被害が拡大しているが、その対策を伺う。

**答** 「市長」農作物被害防止対策として、農業委員会、ちばみどり農協、匠瑳猟友会の関係機関と匠瑳市有害鳥獣対策協議会を組織している。本協議会において策定した匠瑳市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会による銃器を用いた鳥類の捕獲や箱わな等の設置による獣類の捕獲を行っている。



近藤 魁人 議員  
(匠る風)



## 行政のデジタル化について

**問** デジタル田園都市国家構想交付金について、全国自治体の半分以上がこれを活用している。匠瑳市での申請実績についてはどうなっているか。

**答** 「企画課長」 現在までのところ、匠瑳市における実績はない。

**問** この交付金は、実績や知見が蓄積されており、匠瑳市の財源確保の面からも有効活用するべきであると思いがいがか。

**答** 「企画課長」 この交付金の活用に向け、現在、各担当課において検討しているところである。財源確保の面で有効であると考えられ、住民サービスの利便性向上、業務効率化となるデジタル技術等の導入について、各業務担当課とともに検討していく。

## 市の医療体制について

**問** 私と同年代の市民の意見であるが、若い世代は、かかりつけ医を持っていないかったり、病院にかかる機会も少ないため、新型コロナウイルスや季節性の感染症の感染時に医療機関を探すのに苦労した人が結構いたと聞いている。このような場合、匠瑳市民病院の受入れ態勢はどうなっているか。

**答** 「市民病院事務局長」 市民病院では、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を発熱外来で対応している。かかりつけ医がない、または、かかりつけのクリニックが発熱に対応していない場合でも、どなたでも市民病院で受診できる。ただ、小児科がなく、中学生以下の小児については受診できない。

**問** 市民病院が民間では対応できない感染症をカバーしている点は素晴らしいが、小児科がないのは残念だ。他の自治体の公立病院では季節性インフルエンザや感染症を受け入れていない例もある。今後建て替えや経営体制を見直す際にも、市民の望む機能を維持し、民間で対応できない事例を引き続き受け入れる態勢を期待する。

**答** 「市民病院事務局長」 市民病院では、今回の新型コロナウイルス感染症の時もそうであったが、発熱外来をつくって、市民、匠瑳市の医療を守るという立場で対応してきた。これからの姿勢を変えずに対応していく。



## 市民病院への通院交通手段

**問** 匠瑳市民病院に通院するための交通手段が少なく、改善が求められている。運行中止された八日市場駅・市民病院間の無料送迎バスの復活はできないか。

**答** 「市民病院事務局長」 無料送迎バスの運行は、車両の老朽化や委託業者からの終了申し出があり、新たな委託業者を探したところ、新規委託料が1.5倍となる見込みであった。また、市内循環バスや4月からデマンド型交通（予約制乗り合いタクシー）も運行開始されたことから、概ね補完できると判断した。このような検討を踏まえ廃止させていただいた。

**問** 市民病院の患者さんの交通手段確保に、行政が責任を持って総合的に検討していただきたいと考える。市民病院を経由する市内循環バスの増便はできないか。

**答** 「環境生活課長」 バス運転手の確保等の問題から、見直しは難しい。デマンド型交通の利用をお願いしたい。

## 市道・排水路等の改修整備工事

**問** 市民から市道や排水路等の改修整備の要望があった場合、どのような段取りで工事を実施していくのか。

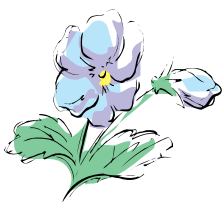
**答** 「市長」 区長、連絡員等からの要望に対して、職員が現地確認を行い、危険性、緊急性、通学路、生活道路等の状況を考慮して順次取り組んでいる。市民からの除草、補修要望には、現地確認を行い、緊急性を要する危険箇所は、職員による作業、業者への依頼により早急に対応している。要望箇所が国道、県道の場合は、海匠土木事務所へ情報提供し対応をお願いしている。

**問** 50mほどの工事区間であっても、複数回に分けて工事が行われ、住民は不信感を持っている。複数回の工事となる場合は、次回の工事時期を住民に知らせてほしい。

**答** 「建設課長」 規模が大きく単年度での完成が難しい場合、複数年度に分けて実施している。また、緊急性を要する工事が発生した場合、予定していた工事が実施できるとは限らないため、次回の工事時期は、現地測量の際に隣接する住民に知らせている。

**問** 単年度・複数年度の工事原則を明示した規則等をつくるべきではないか。

**答** 「建設課長」 緊急性を要する工事が優先される場合があるため、原則等をつくることは難しいと考える。





菊谷進一議員  
(二十一世紀の会)



### 病院問題

**問** 病院機能の強化、水準を下げないようにするというのが、前の市長からの基本的なスタンスである。旭中央病院・匠瑤市民病院医療連携協議会の下部組織である幹事会で何を話しているか、議会に公表されていないが、市長は知っているのか。

**答** 「市長」どのような規模で、またどのような体制で、どうすることが一番、両病院にとつてのメリットが生まれてくるか、そのような様々なケースを検討していると聞いている。

**問** 菊地病院事業管理者が言っていたように、病院機能は今の機能を保全し地域ケアを支えていかなければいけない状況である。幹事会に来ている医療コンサルは市民の事が分からない。市民の声を聞いて、県と市民病院と担当で旭中央病院に物申さないと旭中央病院のペースで物事が進んでしまつたら市民のための市民病院ではなくなる。

**答** 「市長」しっかりとした病院になるように、しっかりと検討を進めていきたい。

### ごみ処理問題

**問** 中継処理施設の整備については、現在の施設を解体した後計画している。その事業内容を勝手に変えないようお願いする。

**答** 「市長」既に計画されていることであるので、計画どおり進むようにしていきたい。

**問** 組合での首長会議において、中継処理施設は造らなくていい、ストックヤードだけ造ればいいと言われたのか。

**答** 「市長」解体費用の負担などの話のとき、中継処理施設の規模をどうするべきだということからそういう話が出ていたと認識している。

**問** 今までであった計画で全部の物事が決まっていたのを、勝手な銚子市の言い分でそれを変えたらいけない。銚子市が自分らで解体して、中継処理施設を造らないことや直接搬入するということは、銚子市が勝手に決めて、広域議会に提案して決めてしまった。今度匠瑤市がやることを銚子市から言われて妥協したらいけない。それは絶対しないと約束していただきたい。

**答** 「市長」これだけの決断をしたので、しっかりと行っていただきたい。



### 行政視察

#### 文教福祉常任委員会

12月8日(金)の委員会終了後、八日市場図書館を訪問し、貸出図書や書庫の状況について視察しました。



文教福祉常任委員会の行政視察

#### 産業建設常任委員会

12月11日(月)の委員会終了後、ソーラーシェアリング施設(市内飯塚地区)を訪問し、設備の設置状況等について視察しました。



産業建設常任委員会の行政視察

### 議会日誌

令和6年(2024)11月

1月

令和6年(2024)

R5/11月	2日	東総地区広域市町村圏事務組合定例会報告会
	7日	東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会・臨時会
	9日	後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会
	13日	全国過疎地域連盟第56回総会
	16日	議会報編集委員会
	20日	東総地区広域市町村圏事務組合全員協議会
	28日	議会運営委員会
	1日	12月定例会開会、本会議【議案上程】
	6日	本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会
	7日	総務常任委員会
	8日	文教福祉常任委員会
	11日	産業建設常任委員会
	13日	本会議【一般質問】
	14日	本会議【一般質問】
	15日	全員協議会
	19日	本会議【採決】12月定例会閉会
	11日	議会報編集委員会
R6/1月	16日	東総地区広域市町村圏事務組合全員協議会
	18日	北総地区市議会正副議長会臨時会
	26日	後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会 (以上主なもの)

### 議員から提出され可決した発議

12月定例会で可決した発議は、次のとおりです。  
●「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める意見書について  
決議した意見書は、内閣総理大臣及び関係大臣へ送付しました。

### 討論

議案等に対する討論は次のとおりです。

- 議案第7号 反対の立場 1件
- 議案第8号 反対の立場 1件

# 令和5年(2023年)12月定例会の審議結果

議案番号	議案名等	議員名	審議結果	近藤	伊東	石橋	内山	椎名	都祭	増田	平山	林	山崎	行木	武田	小川	石田	佐藤	荻谷	田村	石田
				魁人	一成	春雄	隼人	勝英	広一	正義	政利	明敏	等	光一	光由	博之	加代	悟	進一	明美	勝一
1	令和5年度匠瑛市一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	令和5年度匠瑛市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和5年度匠瑛市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和5年度匠瑛市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和5年度匠瑛市病院事業会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	匠瑛市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	匠瑛市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
8	匠瑛市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
9	匠瑛市病院事業の管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	匠瑛市医師及び医療従事者養成奨学金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	令和5年度匠瑛市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	匠瑛市使用料、手数料、占用料等条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	匠瑛市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	匠瑛市監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	消費者被害を防止、救済するため、特定商取引法の抜本的な改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第1号	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

## 編集後記

この度の令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様並びにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

被災地の1日も早い復興そして被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復することを心よりお祈り申し上げます。

さて、12月定例会では、議会人事が行われ、正・副議長、常任委員会委員及び一部事務組合議会

匠瑛議会だより編集委員会

委員長 石橋 春雄  
副委員長 山崎 等  
委員 武田 光由  
都祭 広一  
増田 正義  
行木 光一  
平山 政利

員が選任されました。それに伴って、議会報編集委員会も新しいメンバーとなりました。委員同士がアイデアを出し合いながら、市民目線でわかりやすく、興味深い誌面にしていきたいと思います。

委員長 石橋 春雄

## 令和6年3月定例会の予定

(3月1日～3月19日 会期19日間)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27 議会運営委員会	28	29	3/1 開会	2
3	4 質疑調整のため休会	5 質疑調整のため休会	6 大綱質疑予算決算常任委員会	7 予算決算常任委員会	8 総務常任委員会	9
10	11 文教福祉常任委員会	12 産業建設常任委員会	13 質問調整のため休会	14 一般質問	15	16
17	18 総合調整のため休会	19 閉会	20 春分の日	21	22	23

※日程は変更となる場合があります。日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479 (73) 0099